

授業科目名： アジアの近代と社会	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 渋谷 節子・大嶋 英一 担当形態：オムニバス
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校 社会）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 日本史・外国史		
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>(1) アジアの文化の多様性について理解する。 (2) 近代の東アジア・東南アジアの人々が経験した社会変化について理解する。 (3) アジアの文化とグローバル化について考察を行う。 (4) 多文化社会としてのアジアのこれからについて考える。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>アジアは広大な地域であり、多様かつ複雑な歴史、文化、社会によって特徴付けられる地域である。この授業では、多様な文化を持つ地域としてのアジアを理解するために、教科書とスクーリングで、この地域が近代以降に経験してきた歴史的变化、特に植民地主義、近代産業化、開発、国民国家の成立、社会主義、都市化、資本主義化、経済格差、戦争や内戦といった社会変化について学び、さらに、これらの社会変化がいかに人々の社会生活や文化に影響を与え、また影響されたかを、様々な具体的事例を通して学修する。アジアの歴史や文化について学ぶことを通して、グローバル化時代におけるこの地域の多文化共生社会の実現について考察を行う。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：イントロダクション：アジアという地域 第2回：アジアの文化の多様性 第3回：アジアの伝統的社会 第4回：アジアの農村社会 第5回：植民地主義による社会変化 第6回：国民国家とナショナリズム 第7回：社会主義と人々の暮らし 第8回：近代産業化とジェンダー 第9回：経済開発がもたらす文化変容 第10回：資本主義と広がる格差の問題 第11回：エスニシティと民族問題 第12回：宗教と紛争 第13回：文化のグローバル化とローカル化 第14回：ディアスポラの文化 第15回：アジアの多文化共生を考える</p> <p>定期試験</p> <p>*スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。</p>			

テキスト

岩崎育夫『入門 東南アジア近現代史』講談社現代新書 2017年

参考書・参考資料等

Shibuya, Setsuko. Living with Uncertainty: Social Changes and the Vietnamese Family in the Rural Mekong Delta. Singapore: Institute of Southeast Asian Studies. 2015.

学生に対する評価

スクーリング評価 (25%)、レポート評価 (25%)、科目修得試験 (50%) の割合で総合して評価する。